

広島市立舟入高等学校 令和3年度 終業式

本校の講堂 アカシヤ・ホールにおいて、3月18日(金)に終業式を行いました。

柳校長先生の講話は、前日までの3月16日(水)と17日(木)に特別時間割によって行われたバレーボール大会に触れて、厳しくも温かい新年度に向けた生徒の成長を促す内容でした。



終業式の日には朝から雨模様でしたが、前日までの3月16日(水)と17日(木)は天候に恵まれ、グラウンドでバレーボールを行うことができました。この両日はクラスマッチが予定されていましたが諸事情により中止となりました。しかし、クラスマッチは舟入高校恒例の行事であり、生徒たちの盛り上がりは大変なものです。この日のために練習を重ねてきた生徒やクラスのためになんとかならないものかと協議した結果、この2日間の時間割を変更して体育の授業を全クラスで行い、試合形式のバレーボールを実施することができました。グラウンドは暑いほどの好天に恵まれた両日、文字通りの熱い試合が行われ、短い時間ではありましたが生徒たちの躍動する姿を見ることができました。

進路指導部の先生の話は、受験勉強で得ることができるものは何でしょう？という生徒への質問から始まり、この後にある「卒業生による講演会」で具体的な体験談から聴き取ることを促す内容でした。その後は生徒会から服装規定に関する取り組みの説明があり、それを受けて生徒部の先生から服装や遅刻、交通安全などの生活指導上の話がありました。

